

図書館つうしん

圖中央図書館 Tel 24-1507

【6月の休館日】

7日(月)・14日(月)・21日(月)・24日(木)・28日(月)

石岡しよじゃくかん書籍館コレクション



▶明治22年(1889年)県内初の図書館「石岡書籍館」が創設されました。その当時の資料を展示しています。

※展示ケースは、(株)博進紙器製作所による企業版ふるさと納税の寄附金を活用して購入しました。

展示資料の紹介



ぶんめいろんのがいりやく
「文明論之概略」

福沢諭吉／著

西洋と日本の文明を比較した文明論説。「文明開化」という言葉は、この本の中で「civilization」の訳語として使われたのが始まりといわれています。

当時の人々が、この本を手にとり西洋の文化に思いをはせていたと思うと感慨深いですね。

【6月のおはなし会】

◆こども図書館(午前10時30分～)

5日(月) おはなし玉手箱

10日(木) ひよこのおはなしかい

19日(月) むかしむかしのおはなし会

◆中央公民館(午後2時30分～)

12日(月) おはなしフレンズ

商店・企業の皆さまからの
支援をお待ちしています！

▼雑誌スポンサー募集中▼

図書館が所蔵する雑誌の購入代金を1年間提供していただき、「最新号」のカバーにスポンサー名と広告を掲載する制度です。詳しくは図書館HPで。



時の記憶

シリーズ 187

「商家に残った地租改正資料」

圖文化振興課(支所)

Tel 43-1111(内線1324)



◀村田宗右衛門文書

左：地引帳

右：地位等級帳

今回も令和2年度に燻蒸処理を行った村田宗右衛門文書から資料を紹介いたします。村田宗右衛門家に残された資料の中に、石岡の地租改正に係わり作成されたと思われる「地引帳」と「地位等級帳」があります。村田宗右衛門は商家や郵便局開設などの事業家としての側面が知られていますが、なぜそのような家に地租改正の資料が残されているのでしょうか。地租改正は明治政府によって明治6年(1873)から行われた土地・租税制度改革です。地種地目・境界の明確化や土地の等級調査が行われました。地租改正を各村で担ったのは戸長・副戸長でした。戸長・副戸長は「人民の公選」により地元の名望家(めいぼうか)が選ばれました。村田宗右衛門は府中藩に御用金を納入するなど近世末には地域を代表する豪商となっており、明治5年(1872)に戸長になっています。これにより地方行政の末端として地租改正事業に係わったため、「地引帳」や「地位等級帳」が残されているのです。資料が残された背景を探ることで当時の社会の様子が復元できます。ふるさと歴史館(総社1-2-10)では、8月1日(日)まで、村田宗右衛門家に残された資料から豪商の姿を探る企画展「村田宗右衛門の本棚」を開催中です。

文芸いしおか

俳句

いしおか俳句同好会

春風や今日は開いてる蔵の窓
下萌や大地目覚める野良仕事
お荷物にならぬ一心青き踏む
露味噲は母の土産酢の物も

岡野 はつ子(小幡)
小池 さき子(高浜)
野村 畝津子(北府中)
福田 泰夫(東光台)

やさと俳句会

煌めきししぶぎになびく糸柳
うららかや遠き牧場の牛の声
木の芽どき山容しかと脈を打つ
里山の一番星のごと辛夷

吉田 進(柿岡)
山崎 景子(瓦谷)
秋山 享弘(宇治会)
國谷 南風(瓦谷)

川柳

いしおか川柳会

クラス会元氣あげたりもらったり
周りを見最後に挙げる自分の手
引き出物使う当てなく天袋

平野 敬(柿岡)
若色 茂(山崎)
安部 正一(東石岡)

短歌

石岡短歌同好会

墓参にと訪いたる里の庭に咲く馬酔木の花の淡きもも色
わが庭に牡丹桜はひらきあむ見に行きたしとひたすらおもふ

西口 はま子(山崎)
海老澤 明子(南台)

満開の桜並木に五十年太りし幹に過去よみがえる

内田 千代子(東光台)

俚謡(都々逸)

石岡俚謡会

土を押し上げ 顔出す新芽 春は命が溢れ出る

坂下 蜻蛉(国府)
田村 こまくさ(鹿の子)

ふわり山肌 もえぎの色に 乗せた春の香 風に舞う

前島 節子(川又)

心おだやか 今年の春も 蝶で賑わう 花畑

暁 夢華(総社)

コロナ解除に 油断は出来ぬ けれど花見にや 出られない

福田 泰夫(東光台)

故郷石岡 自慢のものは 人の情けと 獅子頭

助川 浩史(府中)

送る言葉に 花束添えて 皆が感謝の 定年日

篠原 美千代(国府)

逢瀬楽しむ 二人を包む 甘い香りの 沈丁花

惣野代 英子(東石岡)

桜満開 お花見日和り 粋な出合いが ほしい春

香俱耶姫(南台)

若葉纏って お化粧直し 紫峰筑波に 初夏の風

投稿作品

花筏三十五年の文の高

大場 和子(国府)
植木 和昭(小倉)

父によく縛られたる樹今もなほ健やかにりて小鳥遊ばす

伊能 政子(大砂)

もう桜咲かないのかと小鳥達ひと時桜の木の上をとぶ

【訂正】5月1日号の石岡短歌同好会西村さんの句に誤りがありました。

(正) 手術終え無事退院とはずむ声がん病む友のうれしき電話



お便り紹介

◆読者アンケートでいただいたご意見・ご感想をご紹介します(一部抜粋)

- ・第一回石岡セレクト認証品の紹介。知らないものがたくさんありました。(40代女性)
- ・リニューアルオープンするフラワーパークの特集がよかったです。きれいな写真や魅力的な内容が盛りだくさんで行ってみたいになりました。(40代女性)
- ・予算の特集ページで、新規に取り組む事業が見えて良かった。子育て世代が住みやすい市、住み続ける市になるよう頑張ってください。(20代男性)
- ・市役所カフェオープン。市役所でご飯を食べるところは無いのかなと思っていたので、地域の事業者が入るのはいいと思いました。(30代男性)

たくさんのお便りありがとうございます♪今後ともお待ちしております(詳しくは裏表紙へ)

※「文化協会だより」は奇数月のみの掲載となります。